様式第16号の2の2（表面）

様式第十六号の二の二（表面）を次のように改める。

介護補償給付
介護給付　労働者災害補償保険　支給請求書

標準字体

0	1	2	3	4	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ		リ	ン
5	6	7	8	9	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ユ	ル	゛
					エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ		レ	°
					オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ヨ	ロ	ー

○濁点、半濁点は一文字として書いてください。
（例）カ゛ハ°

帳票種別 ※35290　①管轄局署　②受付年月日（元号 年 月 日）　③特別コード　④介護料区分（1有 3無）

※印の欄は記入しないでください。（職員が記入します。）

（注意）
一、□□□で表示された枠（以下、「記入枠」という。）に記入する文字は、光学式文字読取装置（OCR）で直接読取りを行いますので、汚したり、穴をあけたり、必要以上に強く折り曲げたり、のりづけしたりしないでください。
二、記載すべき事項のない欄又は記入枠は空欄のままとし、事項を選択する場合には該当事項を○で囲んでください。（ただし、欄については該当番号を記入枠に記入してください。）
三、記入枠の部分は、必ず黒のボールペンを使用し、様式の右上に記載された「標準字体」にならって、枠からはみださないように大きめのカタカナ及びアラビア数字で明瞭に記載してください。

◎裏面の注意事項を読んでから記入してください。折り曲げる場合には（◀）の所を谷に折りさらに2つ折りにしてください。

(イ) 年金証書番号　⑤　管轄局 | 種別 | 西暦年 | 番号

(ロ) 受給している労災年金の種類
□障害（補償）　年金　級
□傷病（補償）　年金　級

(ハ) 障害の部位及び状態並びに当該障害を有することに伴う日常生活の状態については別紙診断書のとおり。

(ニ) 労働者の
⑥氏名（カタカナ）　：姓と名の間は1文字あけて左ヅメで記入してください。
生年月日　年　月　日
氏名
住所

⑦(ホ)請求対象年月	⑧(ヘ)費用を支出して介護を受けた日数	⑨(ト)介護に要する費用として支出した費用の額	介護に従事した者	親族	友人・知人	看護師・家政婦又は看護補助者	施設職員
7平成 元号 年 月			※	⑩	⑪	⑫	⑬
⑭(ホ)請求対象年月	⑮(ヘ)費用を支出して介護を受けた日数	⑯(ト)介護に要する費用として支出した費用の額	介護に従事した者	親族	友人・知人	看護師・家政婦又は看護補助者	施設職員
7平成 元号 年 月			※	⑰	⑱	⑲	⑳
(ホ)請求対象年月	(ヘ)費用を支出して介護を受けた日数	(ト)介護に要する費用として支出した費用の額	介護に従事した者	親族	友人・知人	看護師・家政婦又は看護補助者	施設職員
7平成 元号 年 月（1～9年は右へ）（1～9月は右へ）	（1～9日は右へ）		※				

右の欄及び　から　までの欄は、口座を新規に届け出る場合、又は、届け出た口座を変更する場合のみ記入してください。

新規・変更

振込を希望する金融機関の名称		口座名義人
銀行 金庫 農協 漁協 信組	本店・本所 出張所 支店・支所	

※金融機関コード（金融機関 | 店舗）
※郵便局コード

(チ) 預(貯)金の種別　1：普通　3：当座
口座番号（左詰め。ゆうちょ銀行の場合は、記号（5桁）は左詰め、番号は右詰めで記入し、空欄には「0」を記入。）

口座名義人（カタカナ）　：姓と名の間は1文字あけて左ヅメで記入してください。

（続き）口座名義人（カタカナ）

(リ) 介護を受けた場所等
イ　住居
ロ　施設等（ただし、病院、診療所、介護老人保健施設、介護医療院、特別養護老人ホーム及び原子爆弾被爆者特別養護ホームは除く。）
所在地　名称　電話（　）　—

(ヌ) 介護に従事した者

氏名	生年月日	続柄	介護期間・日数	区分
	年　月　日		月　日から 月　日まで 日間	イ 親族　ロ 友人・知人 ハ 看護師・家政婦又は看護補助者 ニ 施設職員
	年　月　日		月　日から 月　日まで 日間	イ 親族　ロ 友人・知人 ハ 看護師・家政婦又は看護補助者 ニ 施設職員
	年　月　日		月　日から 月　日まで 日間	イ 親族　ロ 友人・知人 ハ 看護師・家政婦又は看護補助者 ニ 施設職員

(ル) 添付する書類　イ　診断書　ロ　介護に要した費用の額の証明書（　通）

上記により　介護補償給付 / 介護給付　の支給を請求します。
年　月　日
労働基準監督署長　殿

〒　—　電話（　）　—
住所　（　方）
請求人の
氏名　印

［介護の事実に関する申立て］
私は、上記(リ)及び(ヌ)のとおり介護に従事したことを申し立てます。

住所		氏名	印	電話番号	（　）　—